

yamabuki i 通信

yamabuki は、『小学校でのパソコン授業』の URL より
パソコン室から 不定期 発行

No. 106
平成 20 年 1 月 10 日
情報教育アドバイザー
広田 さち子

調べ学習でのインターネット(2)

インターネットで調べることのメリット・デメリットについての続きです。

と も関連があります。検索をしていると、望まないページが見つかることがあります。ほしい情報についてのキーワードを含んではいるけれど、情報そのものが、調べたいことに対して役に立たない場合です。

もし、そういったページが、いわゆる「よくない」サイトであった場合、すぐに「閉じる」か「戻る」判断が求められます。(戻れない場合もあるので、閉じる方が無難です)

学校のパソコン室など、子どもたちが使うネットワークでは、不適切なページが表示されないようにフィルタがかかっている場合が多くありますが、それも完璧ではありませんから、注意は必要です。

検索サイトとして、大人も使う「Google」「goo」「Yahoo! JAPAN」などでは、いわゆる「よくない」ページや、個人のブログも検索結果としてたくさん表示されてきますので、こういったことの少ない、子ども向けの検索サイトを利用することもいいことです。これには、

・Yahoo!きっず ・キッズgoo

などがあります。ここでの検索結果は、それぞれが子ども向けに役に立ちそうだと判断したものだけが表示されますので、あまり目的から離れたサイトは現れません。ただし、それらのサイトに含まれるリンク集まではチェックしていないことが考えられますから、気をつけます。

これらの子ども向け検索サイトでは、画面の漢字にふりがなを振る機能を持っていますので、子どもたちには便利です。

について。調べるときには、一般的に検索サイトでキーワードを入力して探しますが、調べたいページが表示されるように適切なキーワードを選択し、組み合わせることは、実は大人でもたいへん難しいことです。そういう場合には、カテゴリ(分類)と言って、あらかじめ検索サイトがページの内容によって分類しているところから辿ると、ほしい情報を見つけやすくなります。どんなキーワードを使えば見つけやすいかも、ここからわかります。

キーワード検索もカテゴリ検索も、まず、自分が何について調べたいのか、それを複数の単語を含んだ文章で表現できることが第一です。それを、文ではなく、単語の並びにして検索すると、ほしい情報を見つけやすくなります。同じ単語でも、その並び順や、漢字・ひらがな・カタカナで、検索結果が異なるので、これを変えて検索しなおすとよい結果が出ることもある、ということを覚えておきましょう。